

日本社会分析学会ニューズレター

2021年臨時号[2021年1月10日発行]

発行：日本社会分析学会事務局

〒753-8511 山口市吉田1677-1

山口大学人文学部 桑畑研究室内

編集責任者：桑畑 洋一郎(事務局長)

Tel:083-933-5242(直通)

E-mail: sasa@jsasa.org

ホームページ: <http://jsasa.org/>

郵便振替口座:01740-0-49579

(名義)日本社会分析学会

※12月冬の例会で開催した総会の報告と、会員の皆様への告知がございますので、臨時のニューズレターをお送りいたします。

◆研究例会の報告と予定

第140回例会(2020年12月5-6日、エムアテイン博多駅前会議室)は盛会に終わりました。お世話・ご協力・ご参加いただいた方々に感謝申し上げます。

◆2020年総会報告(12月6日、zoomを用いてのオンライン開催)

1.報告事項

(1)庶務報告

- ・会員数155名(前年度160名)
(購読会員1名[前年度1件]、購読機関31件[前年度31件]、寄贈機関3件[前年度3件])
- ・活動状況
 - 例会 2019年7月27・28日 第137回例会(熊本大学)
2019年12月14・15日 第138回例会(鹿児島女子短期大学)
 - 理事会 2019年7月27日(熊本大学)
 - ニュース 4回発行
- ・今後とも学会活動の活性化のためにシンポジウム・講演等の企画を積極的にご提案いただきたい。

(2)編集報告

- ・『社会分析』47号を2020年3月31日付で発行。
特集：「承認の構造変動」：大畠啓会員に企画・編集を依頼。解題および4本の論文を掲載。
一般投稿：論文3本の投稿があり、審査の結果、論文3本の掲載。
書評：会員著作の書評4本を掲載した。
- ・『社会分析』48号(2021年3月発行予定)について。
特集「家族と地域社会の持続可能性(仮)」：加来和典理事に解題・コーディネートを依頼。一般応募なし。
一般投稿：原稿提出期限10月1日(提出先：学会事務局)。
書評：対象書籍の推薦(自薦・他薦)、提出期限8月31日(提出先：学会事務局)。

(3)その他

2.審議事項

(1)新入会員(2019年7月27日以降)承認

黒田 和宏(くろだ かずひろ)

推薦者：近藤 理恵

呂 宣萱(ろ せんけん)

推薦者：高野 和良

梅津 日奈子(うめづ ひなこ)

推薦者：高野 和良

孫 巍(そん ぎ)

推薦者：高野 和良

(2)第139回例会の中止とそれに伴う会務の調整について(ご報告)

- ・第140回例会における総会の開催
- ・予算運用と会務執行

→2019年度決算締め日は7月8日。暫定予算をもって12月総会まで進め、総会であらためて会員にお諮りすることに。

・第139回例会シンポジウムの延期開催

→第140回に延期。

・第140回例会の開催方法

→オンライン+会場のハイブリッド方式(初日)、オンライン(2日目)。総会は2日目。

(3)出版企画について

(4)コロナ禍研究支援について

(5)2019年度決算(含、監査報告)

◎会計資料

2019年度決算報告

	項目	予算(円)	決算(円)	備考
収入の部	学会費	750,000	665,000	会費133件
	購読料	67,200	66,497	32件(内個人購読会員1件1,397円)
	利子、その他	25	4,584	ゆうちょ銀行(定期満期分含む)、福岡銀行
	本年度収入合計	817,225	736,081	
	前年度繰越金	3,897,985	3,897,985	
	総計	4,715,210	4,634,066	
支出の部	雑誌印刷費	430,000	384,750	47号200部(発送委託費含む)
	編集費	60,000	53,535	編集担当者経費、書評対象書籍代(特集謝金は次年度執行)
	通信費	120,000	46,068	ニューズレター・機関誌(購読分)郵送料
	事務局費	40,000	16,936	事務アルバイト費用、振込手数料
	事務委託費	90,000	70,200	ホームページ管理
	例会・会議費	80,000	96,280	例会開催費、理事会費
	企画事業費	30,000	91,540	第138回例会シンポジウム登壇者旅費(非会員分。ただし打越先生分は全額社会福祉系学会連合会から補助)と謝金
	予備費	40,000	40,000	社会福祉系学会連合会費、社会学系コンソーシアム会費(前年度分と今年度分)
	本年度支出合計	890,000	799,309	収入比で63,228円赤字
	次年度繰越金	3,825,210	3,834,757	予算比で9,547円増、前年度比で63,228円減
	総計	4,715,210	4,634,066	

※収入・支出とも2020年7月8日締。

監査報告

会計帳簿、預金通帳、現金、その他関係証拠について精査しましたところ、適正に処理されておりましたことを報告いたします。

2020年7月22日

会計監査

牧野厚史



会計監査

山下 亜紀子



(6)2020 年度暫定・修正予算案

2020 年度暫定 (8 月時点) 予算案

	項 目	予 算 (円)	備 考
収入の部	学 会 費	750,000	会費 150 件
	購 読 料	67,200	32 件
	利子、その他	25	ゆうちょ銀行、福岡銀行
	本年度収入合計	817,225	
	前年度繰越金	3,834,757	
	総 計	4,651,982	
支出の部	雑誌印刷費	400,000	48 号 200 部 (発送委託費含む)
	編 集 費	60,000	編集担当者経費、特集謝金、書評対象書籍代
	通 信 費	60,000	ニューズレター・機関誌郵送代
	事務局費	30,000	事務アルバイト費用、振込手数料
	事務委託費	75,000	ホームページ管理
	例会・会議費	80,000	例会開催費、理事会費
	企画事業費	50,000	シンポジウム経費、講演謝礼等
	予 備 費	40,000	社会学系コンソーシアム会費、社会福祉系学会連合会費
	本年度支出合計	795,000	
	次年度繰越金	3,856,982	
	総 計	4,651,982	

2020 年度修正予算案 (ゴシック体の部分が修正箇所)

	項 目	予 算 (円)	備 考
収入の部	学 会 費	750,000	会費 150 件
	購 読 料	67,200	32 件
	利子、その他	25	ゆうちょ銀行、福岡銀行
	本年度収入合計	817,225	
	前年度繰越金	3,834,757	
	総 計	4,651,982	
支出の部	雑誌印刷費	400,000	48 号 200 部 (発送委託費含む)
	編 集 費	60,000	編集担当者経費、特集謝金、書評対象書籍代
	通 信 費	60,000	ニューズレター・機関誌郵送代
	事務局費	50,000	事務アルバイト費用、振込手数料、 zoom pro 契約費用
	事務委託費	75,000	ホームページ管理
	例会・会議費	80,000	例会開催費、理事会費
	企画事業費	250,000	シンポジウム経費、講演謝礼等、 コロナ禍における出版企画研究支援費
	予 備 費	40,000	社会学系コンソーシアム会費、社会福祉系学会連合会費
	本年度支出合計	1,015,000	暫定予算案より 220,000 円追加計上
	次年度繰越金	3,636,982	
総 計	4,651,982		

(7)今後の例会について

(8)今後の特集論文テーマについて

→(7)(8)ともに検討中。

(9)その他

⇒審議事項についてもすべてご承認いただきました。

◆出版企画についてのご案内

総会でもご承認いただきましたように、当学会では、2021年-2022年度事業として、以下の趣旨の出版事業を計画しております。

日本社会分析学会編 出版企画（案）

1. 題目（いずれも仮題）

上巻：生活構造の理論と分析－生活構造分析入門

下巻：社会の変容と暮らしの再生－新たな共同性の模索

2. 趣旨

本書は、日本社会分析学会会員が行ってきた、社会の現状分析を総括的に世に問うものである。

社会は、それをとりまく環境の変化に制約され、また、環境の変化に対応しつつ常に構造を変化させる。テクノロジー、経済、政治、文化、自然環境、災害、そして感染症など、日本を取り巻くグローバルな環境の変化やそれと連動して生じる国レベルでのマクロな構造変動は、私たちの暮らしを大きく変容させてきた。

しかし、こうしたグローバルかつナショナルな構造変動は、ダイレクトに人びとの暮らしに影響を与えるわけではない。マクロな構造変動とミクロな暮らしの変容の間には、人びとが組み込まれ、また、主体的に組みあげていく生活の領域がある。そうした媒介領域、すなわち生活構造や生活過程によってマクロな構造変動の効果は増幅されたり、弱められたり、屈折させられたりもするのである。

もちろん、その形は一つではない。暮らしは多様な局面を持っており、生活の構造や過程も多様である。そこに人びとは、階層や地域などの構造に規定されつつ様々な地位・役割で参与し、また、地位・役割の組み替えを通して構造を変容させる。生活者としての個人は、マクロな構造変動に翻弄され不安を抱えながら生きている。同時に、そうした危機に対して、既存の仕組みを利用したり、組み替えたり、新たに仕組みを創りだしたりしながら、したたかに生きてきた。そして、そうした暮らしの実践や論理をもとに異議申し立てを行い政策に関与しようとしてきた。社会学は、そして日本社会分析学会は、実証データに基づきながら、各領域における生活構造の形を示し類型化するとともに、生活構造の媒介メカニズムを「中範囲の理論」として示してきた。今回の出版は、日本社会分析学会会員が行ってきた、社会の現状分析を総括的に世に問うことを目的としている。

上巻は、生活構造分析の入門書である。主たる対象は、専門課程の学部学生や大学院生である。

下巻は、上記の趣旨にそくした多様な切り口からの研究論文集である。そこでは、（生活構造論に依拠しつつ）暮らしの再生や共同性の構築に焦点をあてたオリジナルな社会分析が展開される。主たる対象は、研究者や大学院生を想定している。

この両巻は、ゆるやかな対応関係をもつ。両巻を通して、生活構造分析を基軸としながら生活の基層や生活の領域の変容を記述・説明すること、そして、暮らしの再生にむけた生活構造分析の意義、可能性、課題を提示したい。

また合わせて、上記出版事業のうち下巻については、執筆者を会員から公募することとなりました。下記の募集文をご覧ください、ふるってご応募ください。

日本社会分析学会会員各位

2021年1月10日

日本社会分析学会

会長 三隅一人

日本社会分析学会編（下巻）『社会の変容と暮らしの再生』（仮題）の
原稿執筆者を公募します。

日本社会分析学会では、先日の総会でご承認いただきましたとおり、2020-2021年度事業として出版事業を計画しております。本計画は、会員による日本社会の現状分析を提示することを目的とするもので、2021～2022年度にかけて上・下巻2冊の書籍を刊行する予定です。企画の趣旨（上・下巻共通）は上記の出版企画（案）のとおりです。

そのうち下巻『社会の変容と暮らしの再生－新たな共同性の模索』（仮題）は、研究者向けの論文集で、執筆者としては中堅・若手の会員を想定しています。この下巻については、執筆者を公募し、

査読付き論文となるよう審査を行うことにしております。また、執筆予定者には、2021年度の例会でのご報告もお願いいたします。

つきましては、執筆希望の方は、下記の点をご確認の上、ふるってご応募ください。

- (1) 論文内容：『社会の変容と暮らしの再生』（仮題）という本書の趣旨にそったもの
- (2) 応募資格：本学会会員で中堅・若手の研究者（大学・大学院修了後概ね25年以内の会員、大学院在学中の会員などを想定しています。ただし、年齢制限をもうけるものではありません。）
- (3) 応募方法：本学会ホームページ（<http://jsasa.org/>）より所定の「応募用紙」をダウンロードし、記入したものを日本社会分析学会事務局にEメール（添付ファイル）にて送付してください（送付先E-mailアドレス：sasa@jsasa.org）。事務局から受付の返事をお送りしますので、返事がない場合はお問い合わせください。
- (4) 応募締め切り：2021年3月31日（水）17:00
- (5) 選考方法：お送りいただいた「応募用紙」をもとに企画・編集委員会で選考し、理事会で決定します。結果は2021年5月末までにはお知らせいたします。
- (6) 査読審査：査読付き論文とするため、査読委員会による査読審査を予定しています。したがって、執筆予定者の原稿が必ず掲載されるわけではありません。
- (7) 分量：12,000～16,000字（図表含む）を予定（出版社との打ち合わせにより変更する可能性があります）
- (8) 原稿締め切り：2022年1月を予定（同上）
- (9) 刊行予定：2022年7月を予定（同上）

本件の連絡先：日本社会分析学会事務局
E-mail: sasa@jsasa.org / Tel:083-933-5242（直通）

◆コロナ禍研究支援についてのご案内

コロナ禍により研究環境に何らかの支障が生じた会員を対象として、お1人あたり**1万円の研究支援**を行います。

下記の要件をすべて満たす方は、**コロナ禍における研究支援応募様式**（学会ホームページからダウンロード、もしくは事務局までご連絡ください）を添えて、**2021年3月31日（水）17:00（必着）までに**事務局までご応募ください（sasa@jsasa.orgまでメール、または郵送でお願いします。メール応募の場合は事務局から受付の返事をお送りしますので、返事がない場合は再度ご連絡ください）。

要件 ①2021年1月時点で会員であること。

②常勤職に就いていないこと。ただし、学生ではないこと。

③前項出版企画下巻への執筆応募を行うこと。

※③については、選考で不採択となった場合や査読審査で不掲載となった場合でも返金は不要です。

採択の可否は、理事会で選考して決定し、結果をお知らせします。採択通知を受けた方は、その後に入金をご確認ください。